

SHOW HEYシネマルーム

★★★

トリプルX

2002 (平成14) 年9月2日鑑賞

Data

監督：ロブ・コーエン

出演：ウィン・ディーゼル／アーシ
ア・アルジェント／マート
ン・コーカス／ダニー・トレ
ホ／マイケル・ルーフ／サミ
ュエル・L・ジャクソン

<ショートコメント>

「新世紀のスパイ・ヒーローの登場」という呼び込みがいかにもピッタリ。車、スノーボード、スカイダイビングなど何でもOKのアウトサイダーのカリスマ、ザンダー・ケイジことトリプルX（アーノルド・シュワルツネッガー、シルベスタ・スタローンの後を次ぐ肉体派若手俳優ウィン・ディーゼル）に、何と、アメリカのNSA（国家安全保障局）から白羽の矢があたった。

トリプルXの任務はロシア軍生き残りのテロ組織「アナーキー99」に潜入し、開発中の「生化学兵器」に関する情報を収集することだ。

NSAのボスを演ずるのはサミュエル・L・ジャクソン。当然ながらアメリカ国家に忠誠を尽くし、その義務の履行のために英知を結集し、トリプルXに指示を下すベテランのエージェントの役をソツなくこなしている。そして、007ばりのスパイ映画につきものの「紅一点」エレナを演ずるのはアーシア・アルジェント。かなり美形であるうえ、知的でクール。お飾りだけの「ボンド・ガール」よりよほど良い。

舞台はなぜか「トータル・フィアーズ」と同じくチェコスロバキアの首都ブラハ。「アナーキー99」はブラハで生化学兵器を使用し、世界戦争の誘発を狙っていた。

それにしても、ど派手なアクションの連続。車泥棒からパラシュートでの落下、ヘリの追跡を逃れて空を飛ぶバイク、果ては、自らおこした雪崩れを従えながらスノーボーで脱出。観ていてスカッとすること間違いなし。また昔のジェームズ・ボンド映画そのままの新兵器の数々も面白い。頭の中を空っぽにして楽しむにはうってつけの作品。

2003 (平成15) 年5月22日記